

※2016年1月発行時点の情報です

突撃取材 **事業所** レポート! **第2回**

全国の事業拠点を訪問し取材するコーナー。社員のみなさんからお話を伺い、事業所の特徴や取り組みなどをご紹介します。

今回の訪問先は

八幡事業所



[事業所PROFILE]

	戸畑スラグ工場	小倉スラグ工場
立地	福岡県北九州市戸畑区／新日鐵住金(株)八幡製鐵所「戸畑地区」構内	福岡県北九州市小倉北区／新日鐵住金(株)八幡製鐵所「小倉地区」構内
歴史	1947年に清新組が請負作業開始	1951年に小倉鋳滓鋳業(株)として創業
人員	工場人員67名	工場人員18名
	129名(役員・顧問、総務、営業、技術を含む ※2015年10月1日現在)	
主な特徴	<ul style="list-style-type: none"> ●多種にわたる鉄鋼スラグの処理加工販売が可能。 ●戸畑工場では、路盤材や港湾用人工石材に使われる水和固化体などが主力製品。 ●小倉工場では廃コンクリートと鉄鋼スラグによる再生路盤材の生産量が多い。 	

[生産に関わる主要協力会社]

- みやこ産業株式会社**
1968年設立。輸送及び積替保管基地での作業、構内請負作業等、お客様の多様化するニーズをトータルにサポートする。
- 太平運輸株式会社**
1974年設立。ベストな輸送システムを安全確実に行うとともに、地球環境を考えた物流の在り方を即応できる企業として展開する。
- 大力産業株式会社**
1974年設立。鋳さい処理作業、産業廃棄物の収集・運搬、鋼材・金属屑及び非鉄金属材料等の回収・加工・販売等の事業を展開する。



事業所近郊のおすすめスポット：世界文化遺産に登録された官営八幡製鐵所関連施設

旧本事務所

製鐵所の中枢機能を担う施設として、操業開始2年前の1899年(明治32年)に竣工した歴史ある建物です。構造は煉瓦組積造2階建、延床面積は約1,000m²。屋根は和瓦、煉瓦積みはイギリス式、中央にフランス様式のドームがあり、東洋と西洋の建築様式を融合した設計となっています。



遠賀川ポンプ室

1910年に操業を開始し、現在も八幡製鐵所の基幹設備として稼働し続ける施設。鋼材生産量を2倍にする第一期拡張工事に伴い、工業用水不足を補う目的で、製鐵所から約11km離れた遠賀川にポンプ室が設置されました。赤レンガを主体として、一部アクセントにスラグを利用したレンガが使われています。



総務部
土屋 雄子



長い歴史に培われた技術を持つ2つの工場。全社に先駆け、事業所内のシナジーを発揮。

国内有数の歴史を持つ八幡製鐵所内にある、戸畑と小倉の2工場が1つの事業所となり道路など土木用、港湾に使われる海洋土木用、セメント用水砕スラグなど多岐にわたる製品を生産しています。廃コンクリートと混合した「再生路盤材」、北九州市エコプレミアム選定品となった「再生砂(スラグ細骨材)」。

これら環境にやさしい製品を開発し、地域に密着して循環型社会に貢献する取り組みを推進しています。三島事業所長を含む5名のみなさんに、事業所の課題や今後の展開についてお話を伺いました。



蒸気エージングの開発やリサイクル率向上など先進的な技術力で、高品質なスラグ製品を生産。

— はじめに八幡事業所の概要をお聞かせください。

三島 会社設立時、旧住金小倉製鐵所の日鉄住金リコテック(株)と、旧新日鐵八幡製鐵所の日鉄住金テックスエンジニア(株)のスラグ事業を統合し、八幡事業所となりました。戸畑・小倉に2つのスラグ工場があり、それぞれ創業は昭和22年、昭和26年と古い歴史があります。

古くからの工業地帯のため、更新の際に多くの「廃コンクリート」が発生するのが地域の特徴。そこで、廃コンクリートと鉄鋼スラグを混合し、再生路盤材として供給しています。この事業は平成元年(戸畑)からスタートしました。また、「鉄鋼副産物を利用した水砕砂」「地球環境への負荷を低減させるスラグ砂」は、エコプロダクツとして北九州市エコプレミアム選定品に認定。環境未来都市北九州市の資源循環型社会構築に貢献しています。

— 技術的な取り組みについてはいかがですか。

三島 1つは1990年に小倉で開発され、全国のスラグ工場で活用されている蒸気エージング処理技術。当時6ヶ月間かかっていた大気エージングをたった7日間に短縮できるという画期的な技術として注目されました。

また、戸畑工場の1時間当たりの蒸気量を小倉工場の蒸気量まで大幅に低減。小倉でできることは戸畑でも取り入れようと、シナジーも発揮されつつあります。

新製品の開発で北九州市のビジョンを後押し。新たな販売先やニーズを積極的に開拓。

— どのような販売先がありますか。

瓜生 販売エリアは、福岡・佐賀・長崎の九州地区3県と、山口・島根・鳥取の中国地区3県と広域です。工事発注者となる官公庁や自治体、民間の土木・舗装業者、ゼネコンや地場の建設会社などを中心に幅広い取引先があります。

代理店による販売は、商社のほか北九州地区6社と島根・鳥



▲ 高炉から出たスラグは、工場内の集積所に運ばれる(戸畑)。



▲ 試験室では製品の分析や試験を行う(戸畑)。



▲ スラグ製品を温水の中に入れ、膨張など変化を確認する(戸畑)。



▲ オペレーション室では確認を徹底し、事故のない操業を実施(戸畑)。



▼ 工場内に集積される廃コンクリート。鉄鋼スラグと混合し、再生路盤材として利用される(小倉)。



◀ 安定的な生産のためには、機械設備の維持管理も重要な業務となる(小倉)。

▼ サイジングプラントでは若手社員が中心となり操業を支える(小倉)。



取地区1社。直販は環境対策が必要な案件など提案がスムーズで、リアルタイムに伝えられるメリットがあります。一方、代理店販売のメリットは営業力の向上です。地域のニーズを現場でくみ上げることができます。

—— 新製品について具体的に伺えますか。

瓜生 「カタマ®SP」は簡易舗装材。林道などの簡易舗装に効果的です。アスファルトやコンクリート舗装するほどの仕様が必要ない場合に安価に施工することができます。すでに福岡県が管轄する林道工事で、6件の受注実績があります。

「ジオタイザー®」は軟弱地盤を改良する鉄鋼スラグです。通常ならセメントや石灰で改良するのですが、市街地では粉塵が問題になることが多い。そこで粉塵が発生しにくく、しかも安価に地盤改良できるため注目されています。大規模地震が想定されるなか、軟弱地盤対策は官民ともにニーズがあります。大手の道路会社の工事で、ジオタイザー®による試験施工を提案。好評を得て九州全体での導入を進める方針が決定しました。国交省の新技术情報提供システム「NETIS」に登録されたことを機に、福岡県など自治体にも提案する計画です。

2つの工場が一体となり技術・人的交流を推進。情報共有やシナジー強化で事業所を活性化。

—— 2工場が統合した後の取り組みや課題についてお聞かせください。

高須賀 先日、短期間に大量の路盤材を生産する案件がありました。工場設備の不具合もあったため、小倉に材料を供給し対応してもらいました。無事、納期内に販売量をまかなうことができ、2つの工場が業務を補完し合える強みを実感しました。

瓜生 統合前の2つの会社で販売管理や方法がバラバラ…。そのため、この1年、足並みをそろえるのに精一杯でした。販売では、取引先と社員個人の信頼関係が大切。販売管理マニュアルの統一や代理店を含めた周知徹底に苦労しました。

高須賀 相互の設備を見学し合うとか、シナジー効果の検討会を定期的に開催するなど、交流を深めてきました。同じ役割の設備で異なる部品を1つに統合する、同じ仕様にしてメンテナンスしやすくするなど、コスト削減の意見を出し合っています。

藤原 小倉ではYJKという小集団活動を実施しています。メンバー5~6名が1チームとなり、職場の問題点を挙げて解決していこうという取り組みです。水砕職場は50代のベテラン、サイジングプラントは年配でも30代と偏りが大きい。ベテランはチームの周りで若手をサポートする役目を担います。

—— 最後に、ひと言ずつ今後のビジョンを伺えますか。

瓜生 公共工事の減少や民間企業の設備投資先送りなど、販売を取り巻く環境は厳しい。今後は新たな市場開拓、新製品による用途拡大を図る必要があります。誠意ある営業活動を通して、スラグ製品の拡販を目指します。

高須賀 当事業所は原料処理、粉砕、製品化して販売まで対応

し、しかも製品ラインナップが多い。技術が磨かれ、人が育ち、質的に「日本一の工場」になれるポテンシャルがあります。そのためには、いかに優秀な人材を育成できるかがカギ。まだ経験の浅い若手が一人前になる頃、日本一の工場という目標が実現すると思います。

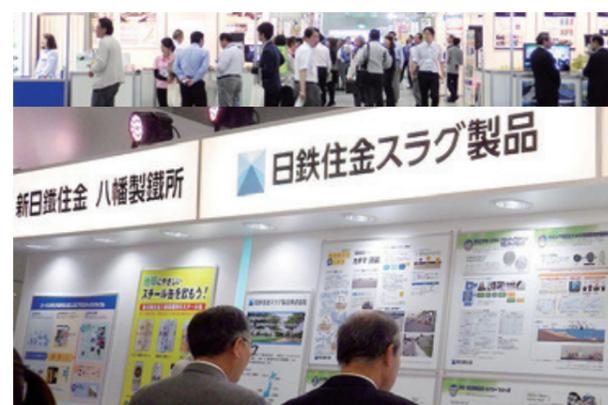
藤原 2つの工場が協力し、そしてお互いに切磋琢磨することで課題解決を進めたいと考えています。戸畑と小倉のシナ

ジーを契機に、全社でノウハウを共有する仕組みを作り、企業価値向上につなげたいですね。

三島 歴史と実績に裏付けされた技術力、地域に根ざした循環型社会への取り組み、さらに2つの工場の技術交流による成果が期待されています。全社的なシナジーの先駆けとして、さまざまな課題にチャレンジします。

—— 本日はありがとうございました。

事業所の取り組みをご紹介します



エコテック/2015 「地球環境ソリューション展/エネルギー先端技術展」

新日鐵住金グループの一員として参加。毎年3万人が来場する会場で、多彩な用途に可能性があるスラグ製品をPRしました。



八新会主催の「秋季体育大会」

北九州総合体育館に総勢700名あまりが集まり、様々な競技を行いました。当事業所はソフトバレーに参加し、1勝1敗と健闘。気持ちいい汗を流し、美味しいお弁当を楽しみました。